

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	中西 環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	ナモデ踊り絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1982年(昭和 57)3月12日				
所在地	高市郡高取町下子島				
所有者 管理者	小島神社				
員数	3面				
時代区分	江戸1723年(享保8)・江戸1752年(宝暦2)・江戸1821年(文政4)				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	奈良県教育委員会の説明板有り				
公開	秋の例祭時にレプリカの公開有り(区長さんへ要連絡)				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (レプリカの状態)				
当面の課題	収蔵庫はじめ神社境内の整備は地元区長さんが交代で指揮をとっておられ、大木の伐採などの費用は地元自治会でまかなっておられるとのこと。過去に伊勢湾台風など、災害で拝殿が倒壊した例もあったので、今後、絵馬が奉納されている収蔵庫を護る意味を考えると境内などの整備費用の負担割合も考慮していきたいところ。				
今後の課題	収蔵庫は県の補助金が出ているとはいえ、庫内の空調の状況などもふまえ、地元立ち合いの定期的な点検なども必要かと思われた。				
その他 (由緒など)	雨乞祈願および満願の際に県下で広くおこなわれていた太鼓踊りの様子を描いた絵馬。小島神社のものは江戸3期の形態を描き伝えるもの。平成7年に完成した絵馬収蔵庫内にあり県指定を受けた際、絵馬3面の修復が成された。案内板によると、小島神社の創建は倭(和)漢三才図会の資料には天平寶宇(字)以前とあり、明治になり旧高市郡(現、高取町・明日香村・橿原市の一部)の広範囲に及ぶ郷社となっている。				
コメント	収蔵庫前の看板に複製したレプリカの写真がありその現物を10年前に完成した拝殿前の会所内で拝見させていただいた。絵馬は彩色豊かに描かれており、太鼓踊りの様子が今にも音となって聞こえてきそうなくらい、かなり見ごたえのあるものだった。ほんとうに大切なことは言葉や文字よりも誰が見てもわかるように絵画で伝えるという手法は万国共通なようだ。古来の祈りが今後も大切に未来へ伝えられていくことを願う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	2 月	4 日	記入者	中西 環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	ナモデ踊り絵馬
------	---------

小島神社参道入り口にある案内板



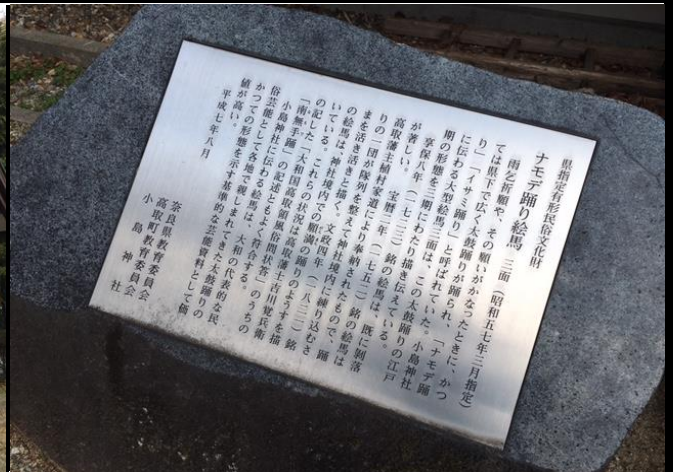
絵馬収蔵庫表扉



絵馬収蔵庫



収蔵庫前にある県教育委員会の説明板



ナモデ踊り絵馬(レプリカ)左から文政4年・宝暦2年・享保8年



文政4年の銘の絵馬

